

製品名: 心筋トロポニンIウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87817**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:500,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:24 kDa; Observed MW:28 kDa

抗原情報

遺伝子名	Cardiac Troponin I
別名	CMH7; RCM1; cTnI; CMD2A; TNNC1; CMD1FF
遺伝子ID	7137
SwissProt ID	P19429
免疫原	ヒト心筋トロポニンIの組換えタンパク質

背景

トロポニンI (TnI) は、トロポニンT (TnT) およびトロポニンC (TnC) とともに、横紋筋の細いフィラメントのトロポニン複合体

を形成する3つのサブユニットの1つです。Tnlは抑制サブユニットであり、アクチン-ミオシン相互作用を阻害することで横紋筋の弛緩を調節します。Tnlサブファミリーには、Tnl-skeletal-fast-twitch、Tnl-skeletal-slow-twitch、およびTnl-cardiacの3つの遺伝子が含まれます。この遺伝子はTnl-cardiacタンパク質をコードし、心筋組織でのみ発現します。この遺伝子の変異は、家族性肥大型心筋症7型(CMH7)および家族性拘束型心筋症(RCM)を引き起こします。[RefSeq提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ

Mouse heart
kDa
190 -
140 -
95 -
65 -
54 -
42 -
32 -
23 -

心臓トロポニンIウサギモノクローナル抗体を1:10000で使用して、マウス心臓組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。